

資産運用レポート：なぜ、理想の投資ができないのか

1 はじめに

株は一度買ったら、売らずにずっと持っているものだ。そうすれば、大きな資産を築ける。

こんな志を掲げて、初めて株を買ったのは、1995年のことです。それから25年の歳月が流れましたけど、未だに当初の思いを達成できていません。

1997年のアジア通貨危機、1999年のITバブルとその崩壊、2003年からの小泉相場、2006年のライブドアショック、2008年のリーマンショック、2013年からのアベノミクス相場……。株価の値動きに翻弄される形で、ドタバタとした売買を繰り返し、今日に至っています。

今回の資産運用レポートでは、私自身の投資を時系列で振り返り「なぜ、理想の投資ができないのか」を探ります。

2 1999年

1999年の年末、私は笑いが止まりませんでした。1997年のアジア通貨危機で塩漬けとなっていた持株が、ITバブルに乗る形で息を吹き返しからです。それどころか、大きな含み益に転じていました。

しかしポートフォリオの中身は、長期保有に適さない銘柄が大半であり、決して褒められたものではありませんでした（下表）。

★1999年12月末のポートフォリオ

	コード	社名	株数	買付単価	買付金額	株価12/28	評価額	損益額	損益率
1	6861	キーエンス	12	16,280	200,000	41,500	509,829	309,829	154.9%
2	8564	武富士	98	5,608	549,600	12,790	1,253,420	703,820	128.1%
3	8574	プロミス	132	2,992	395,000	5,200	686,400	291,400	73.8%
4	8577	日栄	19	10,270	200,000	2,220	43,234	-156,766	-78.4%
5	8595	ジャフコ	100	6,030	603,000	36,500	3,650,000	3,047,000	505.3%
6	8603	日興証券	900	690	621,200	1,293	1,163,700	542,500	87.3%
7	9074	日本石油輸送	650	406	263,700	202	131,300	-132,400	-50.2%
8	9629	PCA	100	3,000	300,000	6,450	645,000	345,000	115.0%
9	9677	日本ジャンボー	200	1,971	394,200	770	154,000	-240,200	-60.9%
10	9843	ニトリ	200	1,397	280,000	4,100	821,996	541,996	193.6%
11	9945	プレナス	76	3,704	280,000	6,490	490,636	210,636	75.2%
12	9952	ドトール	80	3,871	309,700	8,300	664,000	354,300	114.4%
13	9989	サンドラッグ	160	2,310	369,600	7,100	1,136,000	766,400	207.4%
		合計			4,766,000		11,349,515	6,583,515	138.1%